



笑顔あふれる大北小 夢が広がる大北小

大北小だより

1月号

平成31年1月8日
練馬区立大泉北小学校
校長 内木 勉

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

新しき始まりの時に

校長 内木 勉

明けましておめでとうございます。暖かで穏やかな新春を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご家族とともに健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は、本校の教育活動に、ご支援ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

今年亥年。干支に使われる漢字は、もともとは動物を表したのではなく、天体の動きから暦を表すのに使われていたものだったそうです。そして、季節によって移り変わっていく植物の様子を表した漢字だったそうなのです。今よりもずっと自然や植物が身近で大切なものであった農耕を中心とした時代、植物の成長の様子を知るための暦はとても重要な役割を持っていたのです。それが動物に当てはめられるようになったのは、昔の中国で干支を発明した王允という人物が「人々が覚えやすいように」と、動物の名前を当てはめて説明し普及させたことが始まりだと言われています。亥年は、十二支の中でも最後の年です。十二支を植物の一生として考えると、戌年でたわわに実った果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味の年なのです。また、動物の猪のイメージから、万病を予防するという意味もあるそうです。これは、猪の肉に万病予防の効能があると信じられていることによります。このことから、無病息災の意味が生まれました。また、猪の猪突猛進な性質から、勇気と冒険の象徴ともされています。

亥年は、十二支の中でも一番最後の年です。子年から始まったひとつの流れが、亥年でひとつの終わりを告げる年でもあります。終わりという寂しいイメージですが、この終わりは実をつけ、種子を宿すという意味での終わりです。つまり、次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年でもあるのです。亥年は、ひとつの終わりと共に新たな始まりに向けて準備をする年と言えるでしょう。

今年「平成」というひとつの時代が終わり、新しい時代が始まるという歴史的な年でもあります。亥年の意味とぴったり重なります。平成という時代に蓄えられたエネルギー、知識や技術を、4月1日に発表され、5月1日から始まる新しい元号、新しい時代へと繋げていく大切な年と言えるかと思えます。これから始まる新しい時代の担い手は間違いなく子どもたちです。子どもたちが夢や希望をもって歩いて行けるよう、今年も「笑顔あふれる大北小 夢が広がる大北小」を合言葉に、教職員一丸となり教育活動に取り組んでいきます。

本年も、大北小の子どもたちの笑顔のため、大北小の教育活動の充実発展のためにお力添えをいただきますよう、よろしく願いいたします。



研究だより ～6年生 研究授業～

6年担任 吉田 悠太

12月5日に6年2組にて、算数科「考える力をのばそう」の単元でプログラミング教育の実践を行いました。ボタンを押す度に三角形が一段ずつ増えていく「正三角形を一段ずつ下に伸ばして並べて大きな正三角形を作れるシステム」を使って同じ作業が繰り返されている「ループ」の考え方に触れることをねらいとしました。

授業では、「ボタンを21回押した時、正三角形はいくつ増えるでしょう。」という問題を設定しました。パワーポイントを使ってシステムを見せると、ほとんどの子供がすぐに「ボタンを一回押す度に増える正三角形が2つずつ増えている」というきまりに気づき、表にすることができました。その後、その表からどんなきまりがあるのかじっくりと考え、友達と共有していく中で「回数に回数から1ひいた数をたすと、三角形の数になる」「回数に、1つ前の回数をたすと、三角形の数になる」「回数に2をかけた数から1をひくと、三角形の数になる」「全体に注目すると正三角形の個数は、回数×回数になる」など、様々な考え方に気付くことができました。また、話し合いの場面では、国語の学習で使った話し合いのフローチャートを使い、「もし～ならば～のようにする」といった条件分岐の考え方をういて友達と意見交換をすることができました。

今回はいつもとは少し違う算数の学習を通して、プログラミングの考え方に触れました。3学期は他教科の学習の中でもプログラミングの考え方を取り入れ、子供たちのプログラミング的思考力を育てられるよう指導していきます。



社会科見学 ～3年生～

3年担任 千葉 守

12月7日（金）に3年生は区内めぐりのバスでの社会科見学に出かけました。バスに乗っての社会科見学は初めてのことで、当初は心配しましたが、当日は皆元気に見学することができました。目白通り沿いのベジフルセンターでは、全国各地から新鮮な野菜や果物が市場にところ狭しに並び、取引される野菜や果物の多さに驚いていました。

石神井公園内にあるふるさと文化館では、練馬大根の歴史や栽培に触れて、練馬大根が練馬区で栽培されるようになったわけやたくあん漬けの話を聞きました。また、屋外に展示されている古民家（内田家）は、当時中村地区に実際に住まれていた方が寄付をされて、展示してあるものです。明治・大正・昭和時代の暮らしを知る手がかりになります。

かまど、敷居、すりガラスなどがあり、今の子供たちは見たことも聞いたことのないものだと思います。敷居をまたいで、古民家に入りました。釘を1本も使っていない家です。学芸員さんから説明を聞くと、「何で釘を使ってなくて家が建つのか」と不思議がっている子もいました。

昭和40年くらいの暮らしを体験できるコーナーもあり、子供たちは、家に上がって、楽しそうにおしゃべりしながら当時の暮らしを体験していました。

帰りには、バスの車窓から、光が丘団地、大泉地区を通り、高層マンション（団地）と静かな戸建ての多い地域の異なりを学びました。

3学期に学習する内容を含んでいるので、新学期に、見学したことを思い出して、理解を深めてくれたらと思います。



道徳授業地区公開講座について

道徳部 吉田悠太

12日(土)に道徳授業地区公開講座が行われます。この講座は、学校関係者だけでなく、保護者・地域の方に参加していただき、学校における道徳教育の在り方や連携について、相互に理解を深めることをねらいとしています。

1年生から3年生は2校時、4年生から6年生は3校時に授業公開を行い、4校時は「子供の気持ちーカウンセリングを通してー」をテーマに講演会を行います。懇談会では事前に提出していただいたご質問や話題にして欲しい内容等にも触れながら、小学校段階の子供の心について、本校のスクールカウンセラーからお話させていただく予定です。なお、4校時は授業公開を行いませんので、皆様第二音楽室へお越しください。

今年度から道徳が教科化され、「特別の教科 道徳」として教科書を使用して授業をするようになりました。教科になったからといって道徳教育の本質は変わりませんが、「考え、議論する道徳」をキーワードに、道徳教育の要の時間として日々授業を行っています。当日は是非子供たちの道徳授業の様子をご覧いただき、ご家庭でも親子で一緒に道徳について考える機会にさせていただきたいと考えています。



8	火	3学期始業式
9	水	給食始 すっきり生活始
10	木	
11	金	委員会 月曜時間割 安全指導
12	土	道徳授業地区公開講座 校内書き初め展始
13	日	
14	月	成人の日
15	火	放送朝会 計測6
16	水	短縄集会 計測5 すっきり生活終
17	木	避難訓練 計測4
18	金	朝学習 計測3
19	土	連合図工展
20	日	
21	月	全校朝会 計測2 クラブ⑫
22	火	計測1 6年社会科見学
23	水	けやき班遊び
24	木	5年オリンピックパラリンピック教育
25	金	4時間授業 校内書写展終
26	土	連合書き初め展
27	日	連合書き初め展
28	月	全校朝会 クラブ⑬ 3年クラブ見学
29	火	
30	水	保健委員会発表集会
31	木	

校内書き初め展について

書写部 弘田志緒

12日から24日まで、校内書写展が行われます。これまでに学習したことを生かして、新年の初めに書いた書を展示します。部分の組み立て方、筆順と字形、文字の大きさと配列などのポイントに気を付けながら、1年の初めにふさわしい文字を書けるように指導していきます。各教室の前の廊下に掲示いたしますので、12日の土曜公開日や、学校にいらした時には是非ご覧ください。

なわとびチャレンジについて

体育主任 高橋 諒

1月21日(月)～2月22日(金)の期間に、冬の体力づくりとして「なわとびチャレンジ」を行います。体育の授業、休み時間、放課後などの時間を使って縄跳び運動に取り組み、様々な種目で大北記録を出します。校内にも掲示されるので、積極的に外に出て体を動かすきっかけとしてほしいと思います。

連合図工展・連合書き初め展のお知らせ

19日(土)から25日(金)まで連合図工展、26日(土)27日(日)に連合書き初め展が行われます。どちらも会場は練馬区立美術館です。